

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	16	課題区分	B	令和5年1月11日	
横断的な課題							
地域重点政策	産学官金連携等による健康長寿の取組					松本地域振興局	
実施機関	松本保健福祉事務所、大町保健福祉事務所			担当課	所属	松本保健福祉事務所総務課	
事業名	産科医療提供体制維持確保事業				電話	内線2111	
					E-mail	matsuho-somu@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	安心して出産できる産科医療体制の維持を図るとともに、地域で子を産み育てることの安心感を醸成し、出産・子育て環境の一層の向上を図る。					
	現状と課題	<p>松本圏域ではH11からH20にかけて、分娩を取り扱う施設が半減(13施設→7施設)し、産科医療体制が崩壊寸前の状況となった。そこで松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会を組織し、健診協力医療機関と分娩医療機関が「共通診療ノート」を活用し連携・役割分担を行う体制を構築した。</p> <p>また、大北圏域における唯一の分娩医療機関が分娩を休止したことを契機に、令和3年度から大北圏域の市町村等が当協議会に加わり、2つの圏域全体で、産科医療提供体制を確保・維持することとなった。(当該医療機関は、令和4年4月に分娩を再開したものの8月以降再び分娩休止)</p> <p>本体制の維持には、健診協力医療機関と分娩医療機関の連携・役割分担に対する地域住民の理解と協力が不可欠であるが、前年度の講演会実施時のアンケートでは、3割が本体制を知らない状況であったため、継続的な周知活動を行うとともに、大北圏域を含めた広範囲で効果的な周知を行う必要がある。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>松本地域及び大北地域における産科医療提供体制の維持を図るために必要な、地域住民の理解と協力を得るための広報活動(公開講座)を実施する。</p> <p>○日時・場所 令和4年11月3日(木・祝) 14:00~16:00 松本合同庁舎講堂(オンライン配信を含む)</p> <p>○テーマ 地域で支える出産・子育て環境</p> <p>○講師 育児漫画家 高野 優さん、信州大学医学部教授 金井誠先生</p> <p>○講演内容 第一部:講師による講演、第二部:子育てなんでも相談会</p> <p>○周知方法 チラシ・ポスターを作成し、市村、医師会、医療機関等を通じて周知するとともに、ホームページ上でも周知。</p> <p>※講演会は、新型コロナウイルス感染症対策を十分とった上で実施する。感染状況によってはオンラインのみの開催とする。</p>					
事業期間	令和4年9月			~	令和5年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	地域住民への広報活動	公開講座の実施	871,375	講師派遣委託、オンライン配信業務委託、需用費			
	合計		871,375				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	出生数に対する管内産科医療機関の分娩取扱数の比率		100.0%以上	104.4%	○ 達成		
	アンケート満足度		80.0%以上	90.0%	● 一部達成		
	講演会参加人数		230人以上 (参集80人、 オンライン150人)	136人 (参集77人、 オンライン59人)	○ 未達成		
事業実績・成果	<p>公開講座の実施(11月3日 14:00~16:00 松本合同庁舎講堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 会場参加77人、オンライン59人 ・参加者へのアンケート結果では、90.0%が満足・やや満足と回答。また、産科医不足の現状は86.8%が知っているものの、松本・大北地域の産科医療体制については71.7%が知らない状況であった。 ・コロナ下での開催であり、参加者数は目標には達しなかったが、オンライン配信を行うことにより、より広範囲の地域住民に産科医療体制を周知することができた。 						
今後の方向性	松本・大北地域の産科医療体制を維持していくためには、地域住民の理解と協力が不可欠であることから、引き続き、公開講座の開催など、より効果的な周知方法を検討し実施していく。						